



カザフスタン

SULTAN グループ

企業訪問調査レポート【8】
～ 食品製造販売～

カザフスタン共和国 Republic of Kazakhstan

基礎データ

| | |
|-------------|-----------------------|
| 面積 | 272万4,900平方キロメートル |
| 人口 | 1,716万人(2014年1月1日現在) |
| 首都 | アスタナ(人口87万人) |
| 実質GDP成長率 | 1.2%(2015年) |
| 名目GDP総額 | 1,843億5,920万ドル(2015年) |
| 1人当たりの名目GDP | 1万508ドル(2015年) |

出所: JETROホームページ 国・地域別に見る「ロシア・CIS カザフスタン概況(2016年6月更新)」

| | |
|---------|------------------------------------|
| ■ 調査月日 | 2015年 8月15日 |
| ■ 分野 | 食品製造・販売 |
| ■ 為替レート | 1ドル≒209.422 カザフスタン テンゲ(2015年8月平均値) |

◆ はじめに

Sultanグループは、

- LLP Sultan Macaroni
- LLP Sultan Confectionary
- LLP Sultan Marketing
- JSC Sultan EMMK

※LLP: Limited Liability Partnership
JSC: Joint Stock Company



Sultan製品のロゴマーク

の4社を持つトルコ資本の大手食品会社で、グループ全体の従業員数は約1,000人。

経営は実質的にSultan Marketing社が統括して行っており、各社とも経営陣はトルコ人となっている。洗練された技術によって、デュラム小麦を原料とした環境に優しい高品質のパスタや菓子類を製造し、「Sultan」のブランド名でカザフスタンと近隣諸国に輸出(数量ベースで5万トン)している。

カザフスタンでは、1993年に発令された大統領令により製粉とパスタ生産工場建設が計画されたが、国内資本による実現は成功せず、外資企業を対象とした入札が行われた。投資環境が整っていない困難な時期であったが、トルコのOkan Holdingがいち早くこれに応札し落札。1996年からパスタ生産、続いて1998年から菓子類の生産を開始し、“Sultan”ブランドで供給しているものである。



Sultanブランドの製品カタログ(<http://www.sultanmarketing.kz>)

◆ 企業概要

LLP Sultan Macaroni

約30種類のマカロニや細・太スパゲティ、パスタ用その他の小麦粉、ブラン粉等を製造、マカロニでは75%の国内シェアを誇るトップメーカー。パスタ類の国内売り上げはSultan EMMK社の製造分も含め3,500万ドルで、グループ全体の売り上げの85%を占めている。ISO 9001-2008およびISO 22000、2005を取得しており、カザフスタン最優秀商品賞を度々受賞している。

| | |
|--------|--|
| 社名 | LLP Sultan Macaroni |
| 所在地 | 北カザフスタン州ペトロパブル市 |
| 工場敷地面積 | 11万m ² (内建屋面積: 10,925m ²)、10万トンの原料貯蔵サイロを保有。 |
| 総投資額 | 3,000万ドル(トルコの銀行Eximbank Kredisiforが融資) |
| 月産規模 | パスタ類: 3,500トン パスタ用小麦粉: 1,100トン 小麦粉: 600トン ブラン粉: 1,000トン |
| 設備 | マカロニ製造機械(Buhler スイス) 包装機械(Richarelli イタリア / Bosch オランダ) |
| 原料 | 穀倉地帯の北カザフスタン州に位置するため、原料の小麦粉等は農家や農業企業から直接仕入れている。 |



Sultan Macaroni社の工場風景

LLC Sultan Confectionery

小麦粉を使用した84種類の菓子類を幅広く生産している。2005年アスタナ市で開催された博覧会に始めて出展し、2005年最優秀製品に選ばれている。

| | |
|------|--|
| 社名 | LLC Sultan Confectionery |
| 所在地 | 北カザフスタン州ペトロパブル市 |
| 設立年 | 1998年 |
| 月産規模 | ビスケット類: 500トン チョコレート菓子: 480トン ウエハース: 180トン |
| 設備 | ビスケット製造機(Rapido ドイツ) ウエハース製造機(Lehman, chocotech ドイツ) チョコレート菓子製造機(Fesa スペイン) 包装機械(Otem イタリア) |



JETRO

LLP Sultan Marketing

Sultan Macaroni社とSultan Confectionary社が共同出資して設立した両社製品専門の販売会社で、両社製品合わせて170種類の商品を扱っている。大手スーパー（Astykzhan、Ramstore、Magnum、Gross、Smallなど）等への卸売りや、公共施設への納品など国内販売に加えて近隣諸国にも支店を有し、輸出を行っている。

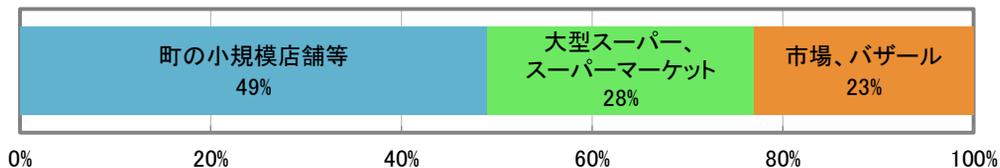
延べ面積15,000m²の商品倉庫を持ち、商品輸送・配送は自社独自で行うほか、一部を外部業者に委託している。また、Sultan Macaroni社とSultan Confectionary社、Sultan EMMK社（後述）の経理処理や販売戦略策定もSultan Marketing社が行っている。

| | |
|--------|--|
| 社名 | LLP Sultan Macaroni |
| 所在地 | アルマトイ市 |
| URL | http://www.sultanmarketing.kz |
| 商品販売比率 | マカロニ等パスタ類:85% 菓子類:15% |
| 国内支店 | 10都市:アルマトイ、パプロダル、シムケント、アスタナ、アクトベ、カラガンダ、アラル、アティラウ、オスケメン、コスタナイ |
| 海外支店 | 7カ国・11カ所:ロシア、ウクライナ、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、アフガニスタン、モンゴル |
| 輸出先 | ロシア、ウクライナ、ウズベキスタン、キルギス、トルクメニスタン、アフガン、モンゴル、タジキスタン、ベラルーシ、ドイツ、中国 など |



スーパーマーケットでの製品陳列風景

【国内販売先】



JSC Sultan EMMK

Sultan Macaroni、Sultan Confectionary、Sultan Marketingの3社が共同出資して設立した、小麦粉とパスタ類のメーカー。



JETRO

◆ 社是(グループ全体)

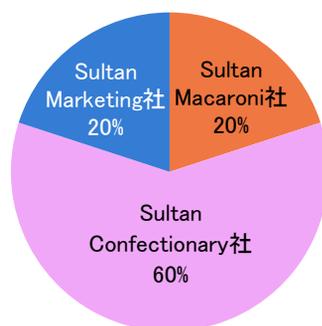
- 全ての階層の人々に高品質の製品を提供する。
- 強いブランド力を持ち、消費者が真っ先に選ぶ製品作りを目指す。
- 消費者第一の意識を常に持ち、人々の文化を尊重する。
- カザフスタンの農業資源の価値を最大限に生かし、世界市場を主導する企業を目指す。
- 出資元のOkan Holding傘下企業であることに囚われず、カザフスタンの労働力を生かし、国際競争の中で常に成長し続ける。
- 戦略と目標意識に裏付けられた将来展望を明確に持つ。
- 過去の経験を教訓とし、生産力と販売力を蓄えてトップ企業を目指す。

◆ 売り上げ

2014年のグループ全体の売り上げは4,200万ドルで、毎年おおむね15%の伸びを見せている。

2014年のマカロニ製品の輸出は7億4,000万テンゲとなっている。

【グループ売り上げ比率】



◆ 販売促進

テレビをはじめ、以下の手法により販促を図っている。その結果、国民の97%に広がる知名度を得た。

- 見本市、展示会への参加
- ファーマーズマーケットや食品の催し物などへの参加
- 各種抽選会開催
- 消費者向けセミナーや説明会の開催
- 主婦向けにレシピをホームページに掲載するなどの情報発信

カザフスタンには伝統的に麺の食文化があり、パスタ類が受け入れられる土壌であることと、世界第11位の小麦生産国であることも、同グループ等の生産を支えている。

Sultanブランドのパスタはタンパク質とミネラル分を多く含んだデュラム小麦を使用しているため、茹でても腰がある。そのため国内はもちろん、ロシアやウズベキスタン、アフガニスタンなどの周辺国やヨーロッパでも人気があり、中国からも注文が来ている。



ホームページにてレシピを公開している

◆ 今後の計画

Sultan Macaroni社は新製品の開発にも積極的で、新たに70品目の製品開発を計画中である。ベシュバルマク(伝統料理)に入れるmellow(カザフ風ワントン)をすでに製造しており、今後パスタも含めて子供の好みに合わせて製品改良することを計画中である。

また、健康に良いブラン粉でのパスタ生産や、製品へさらにヨウ素やカルシウム等の栄養素を添加することなどに力を注ぐとしている。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。